

春の日差しの下、そりでゴー



雪も一部溶け出したゲレンデをバックにペアでそりを楽しむ親子

シーズン終わりを町民そり大会で楽しむ

3月11日の日曜日、快晴のモ
ンデウススキー場で、まち協体
育部の主催する町民そり大会が
行われました。

去年から始まったそり大会に
は、今年も73人と親子を中心に
多くの町民が参加しました

部門は小学校低学年・高学年
一般、ペアの部に別れて行われ
タイムトライアルで競い合いま
した。

参加者は、普段はスキーヤー
やボーダーが滑るゲレンデをそ
りで滑る事ができるとあって、
のびのびと雪の感触を満喫して
いました。

その後行われた宝探しでは、
ゲレンデにばらまかれたくじの
付いたみかんを参加者全員で探
し、景品が当たると手を挙げて
喜んでいました。

この日はスキー場の今シーズ
ン最終日に当たり、多くの人が
最後の滑りを楽しみ中、最後に
飾るイベントとして盛り上がっ
ていました。(中畑)

一之宮まち協だより

第47号

平成30年4月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

一之宮の小学生、高校生全国で活躍 冬季国体、全国ジュニアスキーに出場

2月28日、新潟県で開催された
国体冬季大会スキー競技会のクロ
スカントリースキー少年男子40キロリレー
のメンバー4名に加わった一之宮
町の高校生2名が、見事13年ぶり
となる5位入賞の快挙を果たしま
した。

第1走者の飛騨高山高校2年の
幅上翔太さんが好走し、第3走者
の高山工業高校2年の谷口晴基さ
んが順位を押し上げ、5位入賞に
大きく貢献しました。

幅上さんは「3年生との最後の
大会で最高のプレゼントをす
ることが出来た。先頭集団について行
くことが、自分の役目だと必死に
食らいついた。チーム岐阜、一丸
となって成し得た入賞。来年はさ
らに上を目指したい!」、また谷
口さんも「2年間一緒に練習をし



5位入賞した選手のみなさん。左端が
幅上さん、一人おいて谷口さん

てきた先輩方と入賞出来てとても
嬉しい」と話してくれました。
来シーズンの活躍を期待したいも
のです。

3月23日から25日にかけて、岩手
県で開催されたJOCジュニアオ
リンピックカップ「全国ジュニア
スキー競技会」のアルペン部門に、
宮小学校5年の南裕太さん・田中
美雅さんと、飛騨高山高校1年の
野中大資さんの3人が出場しまし
た。

結果は、南さんの24位が最高で
したが、野中さんは試合を振り返
り「入賞を狙っていたので逃して
悔しい。雪質などの環境に上手く
順応出来るように訓練して、来シー
ズンは入賞を狙います」と力強く
語ってくれました。

一之宮町には、スキーに限らず
他のスポーツや文化活動で頑張っ
ている子どもや若者達が、地域が
より一層支援・応援して行きたい
ものです。(伊藤)



回転競技で滑走の野中さん

話題のさんぽ路

宮川源流の滝 『餅谷の滝』 が結氷！

この冬は低温の日が多く、水道関係のトラブルがあちこちで発生していたようです。そんな寒い日が続いた2月9日、源流の森にある『餅谷の滝』を見に行ってみました。

餅谷の滝は、『斐太後風土記（ひだごふどき）』にも記された由緒ある滝ですが、いつしか訪れる人も絶え、幻の滝となっていました。近年、宮にも滝があることが再認識され、遊歩道や案内板が整備されていますが、一之宮町民の中でも知らない方が多いようです。

さて、当然冬は遊歩道も雪に覆われているので、県道除雪の終点からスノーシューをはいて雪の上を進みました。雪の斜面を登って徐々に滝に近づいていくと、夏であれば遠くから滝の水音がするのですが、なぜかほとんど聞こえません。さらに近づいて、谷に下り進むと・・・滝が見えてきました。するとそこには、水の流れ落ちる滝ではなく、青白く結氷した滝がありました！

さすがに水量が多いためか、凍った滝の内側（裏側？）には水が流



凍り付いた滝（左）
上は夏の餅谷の滝

れ落ちているのが透けて見えます。雪の中、汗をかきながら登ってきた苦勞も忘れ、しばらく見とれていました。

春になってもう結氷は見られなくなっていますが、ふるさとの宝『餅谷の滝』をぜひ見に行ってください！
（中島照雅）

□退任のごあいさつ□

武川 尚（前一之宮支所長）

この度3月31日をもって、高山市一之宮支所を退職いたしました。

4年間にわたり町民の皆様には公私とも一方ならぬご厚情を賜り、おかげをもちまして無事に職務を果たせました。心より厚くお礼申し上げます。

一之宮町で経験させていただいた「まちづくり協議会の設立」「水無神社の大祭」「位山トレイラン」等々は、私のすばらしい思い出になっています。

これからは休養いたしまして、時期をみて地域にお返しできるような奉仕をしていきたい存じます。

何卒今後とも相変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お礼かたがた退職のご挨拶とさせていただきます。

伴場 敏彦（前一之宮町まち協事務局長）

この度平成29年度末を持ちまして退職をさせていただきます。

平成24年度から、当初は当地区の社教主事として勤務させていただき、平成26年度からは新しく始まったまち協の事務職として務めさせていただきます。

この6年間、地域の方々には大変お世話になり、いろいろなことを学ばせていただきました。まち協組織になってまだ日は浅く、課題は多くありますが、田邊会長を中心に徐々に「みんなで作るまちづくり」が進んでいくよう祈念

いたしております。

これまで仲良くしていただいたたくさんの方々に感謝を申し上げ、退任のごあいさつといたします。

□就任のごあいさつ□

一之宮町まちづくり協議会事務局長

小瀬 俊郎

この度、一之宮町まちづくり協議会の事務局職員として4月より務めさせていただきますことになりました。

平成26年に一之宮町まち協が他地域に先行して設立され、今に至っており、その間、大変幅広い活動をされていると承知しております。

また、一之宮町は、伝統、様々な行事、臥龍桜、宮川の源流等豊かな自然・文化に恵まれ、それらをしっかりと引継いで伝えている地域であると自分は感じております。

一之宮町が安心して暮らせる豊かな住みよい町となるように、まち協の裏方として、精いっぱい努力して参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「一之宮まち協だより」 来月号から変わります！

まち協広報部では4年間続けたこれまでのスタイルを一新し、全面カラーで、より読みやすく親しみやすい紙面で発行することにしました。

どんな内容になるか？現在悩みながら検討しています。ご期待ください。

みなさまの情報提供・ご意見お待ちしております。

図書館案内



寒かった冬が終わり待望の春がやってきました！
お花を植えたり、出掛けたり、この季節に何か始めるための本もそろっています。
春からの生活にぜひ図書館をご活用ください。

<今月の特集>

★「パンダ」

図鑑や絵本、写真集などを集めて魅力いっぱいパンダのひみつにせまります。

★「春だよ！」

春の花や生きものたちの絵本を紹介します。おはなしの世界で春を感じてください。

●5月2日(水)は一宮水無神社の例祭のため休館します。

●一之宮分館だより春号が発行されました。カウンターでお渡ししています。

●今月のおはなし会は4月21日(土)午前10時30分～です。

【図書館ご利用MEMO】

図書館は一之宮支所に隣接する「飛騨位山文化交流館」内にあります。

月曜日休館。開館時間は午前9時～午後9時(日・祝は午後5時まで)です。

4月～5月行事予定

4月

- 1日(日) 春の環境整備
- 3日(火) 飛騨一之宮生きびな祭り
- 5日(木) 保育園入園式
- 6日(金) 小学校入学式
- 7日(土) 中学校入学式
- 12日(木) まち協理事会
- 22日(日) 臥龍桜を語る会
- 24日(火) まち協定期総会
町内会長・班長会

5月

- 2日(水) 水無神社例祭
- 21日(月) 町内会長会

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

こはる
小陽ちゃん 平成27年1月26日生まれ

お父さん: 架場 一宏さん 《奥》
お母さん: 架場 恵さん

架場小陽です。大雪でとても寒い時に生まれました。そんな寒さを吹き飛ばし、そして周りのみんなを暖かくしてくれる小さな太陽になってほしいという思いで小陽と名付けられました。もうすぐ保育園に入園で、すごく楽しみです。お友達、仲良くなっていっぱい遊ぼうね。でも不安もあって最近



ママに甘えてばかりかな。小陽の成長ぶりにパパとママは驚かされてばかりだけど、これからも元気に育ってほしいと思っているからね。

お知らせ

◆まち協設立5周年記念事業

「臥龍桜を語る」

1100年の樹勢を保ちなぜ今も生き続けているのか… 元宮村村



長の大江哲雄氏に語っていただきます。

◇日時: 4月22日(日) 午前10時～

◇会場: 飛騨位山文化交流館
交流サロン

※来場者の皆様に設立5周年の記念品を贈呈します。ぜひお越しください。

◆臥龍桜まつりのご案内

◇期日: 4月22日(日)

◇会場: 臥龍公園

◇ステージショー: 午前11時～

ピアノ&バイオリン演奏、コーラス、日舞、大正琴、カラオケ、津軽三味線、杉山修ライブ、太鼓演奏 紅忍(くのいち)

◆故山腰曠さんを偲ぶ「企画展」

書・水墨画・日本画の展示のほか、個人の業績等を紹介する足跡コーナーなど。

◇期日: 4月22日(日)～5月6日(日)
午前9時～午後5時

◇会場: 飛騨位山文化交流館
企画展示室

※休館日等、ご確認の上お出かけ下さい。
※企画展特別イベントも開催されます

～山腰恵子さんピアノコンサート～

・日時: 4月29日(日)
午後1時30分～

・場所: 交流館サロン



◆一之宮町まちづくり応援事業補助金の募集

まち協では、地域の活性化及び特色あるまちづくり推進を目的に一之宮町内の団体を対象に補助金を交付します。

交付対象者

- ①町内会・班
 - ②ボランティア及びNPO団体
 - ③その他、地域の活性化を目的とする組織
- ※宗教・政治活動団体等は除く

補助金の額は対象経費の3分の2以内で10万円を上限とします。

交付申請書等、必要な書類を添えてまち協事務局まで申請してください。

対象事業等や手続き等、詳しくはまち協事務局までお問合せください。(☎53-2424)。

※第1次受付締切は5月末とします。

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0～14歳	167	155	322	-11
15～64歳	682	691	1,373	-28
65歳以上	340	477	817	-1
合計	1,189	1,323	2,512	-10
世帯数	826戸			+4

平成30年3月1日現在

一之宮町の人口情勢(人)

また、いろいろな情報を寄せてください。新広報部員も募集しています。(広報部 山腰進)

つぶやき…
先月2日に、今年度の方針も含めて広報部会を行いました。今年度から、まち協の事務長が伴場さんから小瀬俊郎さんに代わられます。伴場さんにはまち協発足当初から広報発行に関わっていただき、伴場さんあつての広報紙発行でした。ありがとうございます。
編集会議では、新事務長の小瀬さんやアクティブプロジェクト等のメンバーにも来ていただいたりして来年度の方針を話し合いました。
一之宮町の多くの世代の皆さんに読んでいただける紙面作りをめざしたいと思います。会議では、さすがとわず案を出していただきました。来月から反映させていきたいと思えます。ご期待ください。

宮中の校風『磨く』を胸に28人が巣立つ

宮中学校卒業式が3月6日に行われ、28人(男子17名、女子11名)が巣立っていきました。

卒業証書の授与では三輪太雄校長が一人ひとりにはなむけの言葉をかけて証書を手渡し、式辞の中では、「校風の『磨く』を心に響かせて生きてほしい」などと述べられました。

送辞では在校生が感謝の言葉を送り、それに対して卒業生は、クラス目標「バズル」を、運動会や修学旅行、合唱などを通して「ピース」を渡し、組み立ててきたことを振り返り、仲間とともに困難にも打ち勝っていききたいなどと力強く述べました。

宮小では17人が将来の抱負を力強く表明して卒業

宮小学校では3月22日に卒業式が行われました。

今年度の卒業生は17名(男子6名、女子11名)でした。

卒業式では、松下操校長から一人ひとりに卒業証書が授与されました。卒業生は証書を授与された後、自分の将来の抱負を力強く述べました。

地域でも児童のあいさつがよくなっていると感じていましたが、学校で6年生が中心となった呼びかけ活動もあつたようです。

季節や人生の節目となる卒業式で若い力を感じ、心も温まるひと

最後に卒業生は、学校音楽コンクールの課題曲にもなった「ふるさと」を歌い、学び舎を後にしました。



「ふるさと」を合唱する卒業生

時を過ごさせていただきました。

(山腰)



合唱を歌って別れを告げました

手話付き「ありがとう」

宮保育園では22人卒園

宮保育園の卒園式が3月26日に行われ、22人が元気よく卒園しました。

拍手で迎えられた卒園児は、奥原祐子園長から卒園証書を受け取った後、保育園での「思い出」や大きくなって「なりたい夢」を一人ひとり大きな声で発表しました。途中で「さよならぼくたちのほいくえん」を歌い、最後に「ありがとうの花」を手話付きで歌ってお父さんやお母さんにありがとうと伝えました。

我が子の成長に涙を流す場面があちこちで見られ、園児もつられて泣いていました。

これから小学生として成長する姿が楽しみな卒園式となりました。来月から新一年生として元気に登校してほしいと思います。



卒園後は親子そろって見送られました

女性部が最後の「すくすく募金」を保小中に寄付

女性部が「すくすく募金」で集めた寄付金を3月12日に、宮保育園、宮中学校、宮小学校に3等分して贈呈しました。

女性部は3月をもって解散することから、女性部として寄付することは最後となりました。「1円玉募金」から始まり「すくすく募金」となって、主に子ども達の健康やかな成長を願って行われてきましたが、今後は違う形で続けるかどうか検討される予定です。

石浦龍華会から感謝状

「すくすく募金」は昨年に続いて今年も宮保育園に手渡されました。

地域の先生に「ありがとう」 サタデイも終了

3月10日に一之宮公民館ホールでサタデイサークルの閉講式が行われました。

指導をされてきた講師から1年を振り返っての感想を聞いた後、子ども達はサークルごとに前に出て一人ひとりが感想を述べました。お茶では浴衣を着てお点前して楽しかったこと、卓球では玉をしっかり返すことができるようになったこと、ふるさと探検では地域のことが少し分かったなどの感想を発表しました。

宮小の松下校長は、「1年を通して地域の先生から教えてもらえるのは一之宮だけ、そのことに感謝しましょう」などと話されました。

だが、それに対して宮保育園を運営する石浦龍華会から女性部に感謝状が贈られました。まち協ではこれらにちなみ、引き続き地域の青少年育成に対して様々な形で力を入れていくことにしています。



募金を受け取る松下宮小校長

今年、6月から始めて、一時期を除いて3月まで、卓球、お茶、ローラーズキー、ふるさと探検の4サークルに47人が学びました。指導をされた講師の先生方、どうも1年間ありがとうございました。



講師の先生から感想を聞く子ども達